

グリーン基金のご紹介

グリーン基金とは日本代協が行っている社会貢献のための寄付活動です。
毎年、日本代協会員会費の中から2%相当額を目途に、植林等の自然保護活動のほか、地域社会貢献活動に実績のある団体に対して寄付を行なっています。

平成26年度グリーン基金を21団体に寄付!!

日本代協は、平成26年10月にホームページ上で「平成26年度グリーン基金」の公募を行い、公募のあった団体について、審査・選考を行なった結果、21団体に合計165万円を寄付しました。

寄付先団体

10万円を寄付した団体

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ● NPO法人 いわて森林再生研究会 | ● NPO法人 庄内海岸のクロマツ林をたてる会 |
| ● NPO法人 移動保育プロジェクト | ● 盤州干潟を守る会 |
| ● NPO法人 未来の荒川をつくる会 | ● 公益財団法人 日本補助犬協会 |
| ● NPO法人 町屋百人衆 | ● NPO法人 日本動物介護センター |
| ● NPO法人 世界の砂漠を緑で包む会 | ● 公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会 |
| ● NPO法人 共生の森 | ● コウノトリ湿地ネット |

5万円を寄付した団体

- | | |
|------------------------|------------------|
| ● NPO法人 山の自然学クラブ | ● チャイルドラインおおいた |
| ● NPO法人 日本救助犬協会 | ● 花水木の会 |
| ● NPO法人 エコ葛城市民ネットワーク | ● NPO法人 リーぱ |
| ● 八代のツルを愛する会 | ● NPO法人 もりねっと北海道 |
| ● NPO法人 霧多布湿地ナショナルトラスト | |

..... 寄付金贈呈式、寄付団体への活動参加の様子



山梨県代協
NPO法人 未来の荒川をつくる会
(平成26年9月7日)



東京代協
公益財団法人 日本補助犬協会
(平成27年3月17日)



奈良県代協
NPO法人 エコ葛城市民ネットワーク
(平成27年3月4日)



大阪代協
NPO法人 共生の森
(平成27年3月7日)

概要

■設立

昭和23年設立、昭和39年大蔵省より社団法人の認可取得、平成25年内閣総理大臣の認可を得て一般社団法人へ移行

■目的

都道府県に設立されている損害保険代理業協会を会員とする団体で、次を目的としています。

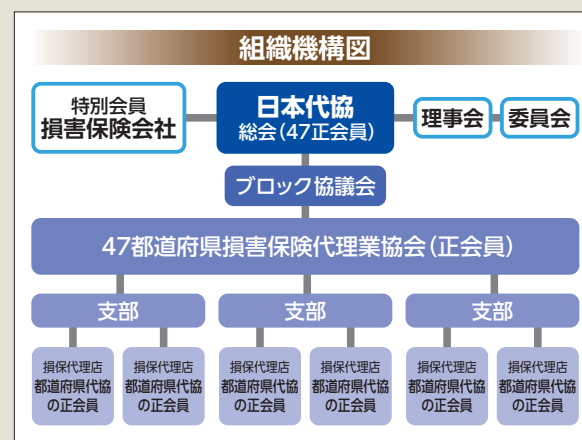
- ・損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護
- ・損害保険代理店の資質向上
- ・損害保険事業の健全な発展への寄与
- ・幅広く社会に貢献するための活動

■組織

本部と47都道府県損害保険代理業協会から構成されています。

■代協加盟代理店数

11,758店 (平成27年3月末現在)



一般社団法人
日本損害保険代理業協会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル321区
TEL: 03-3201-2745 FAX: 03-3201-4639
URL: <http://www.nihondaikyo.or.jp/>

(2015.6発行 31,000)



平成27年度版

日本代協は、 今こんな活動をしています!!

損害保険の普及と

消費者・保険契約者の利益を守るために、
損害保険代理店及び募集人の
資質向上に努めています。

日本代協ホームページ

<http://www.nihondaikyo.or.jp/>

日本代協

検索



一般社団法人
日本損害保険代理業協会(日本代協)

代理店及び募集人の資質向上に向けた教育・研修活動

損害保険大学課程教育プログラムの運営

一般社団法人日本損害保険協会（損保協会）は、損保協会の「損害保険代理店専門試験」と日本代協の「日本代協保険大学校並びに認定保険代理士制度」を統合した「損害保険大学課程」を、平成24年7月から実施しています。この制度の運営にあたり、日本代協は指定教育機関となり、教育プログラムの企画・運営を行なっています。

損害保険大学課程の「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関する法律・税務等の知識を基に、より実践的な業務スキルを習得するコースで、お客さまに総合的なコンサルティングを実践できる募集人の育成を目指しています。修了・試験合格後には、「損害保険トータルプランナー」として認定されます。



「コンサルティングコース」セミナー



損害保険トータルプランナー認定授与式

太平洋保険学校 (PIAS) の実施

業界唯一の横断的な海外研修制度であるPIASは、昭和54年以来、継続的に実施し、平成26年度で第34回目を迎え、延べ714名が参加しています。米国の最新の保険情報、代理店の経営戦略や募集人の高いプロ意識、業務レベルを肌で感じる貴重な機会として、参加者から大変好評をいただいております。今後も継続実施します。



代協会員向けセミナー

日本代協、各都道府県代協は、会員向けに本業に資する様々なセミナーを開催しています。平成26年度は、「保険業法改正に伴う代理店の対応」や「保険会社との交流会」等、代協ならではの実務に即したセミナーを開催し、会員への情報提供を行なっています。



東京代協 保険会社との交流会
(平成26年12月4日)



福岡県代協 新春セミナー
(平成27年1月20日)

日本代協コンベンション

日本代協は、「全国の代協会員が集い、語らう場」として、代協会員の手作りによるコンベンションを毎年2日間に亘り、開催しています。コンベンションでは、功労者表彰とあわせて、毎年テーマを定め、1日目に基調講演、2日目は、基調講演に基づいた分科会を開催し、代協会員が自己研鑽に励んでいます。

平成26年度のテーマは、「代理店のコミュニケーションのあり方を考える」でした。



式典(上)、基調講演(右上)、分科会の様子(右下)
(平成26年11月14日、15日)



消費者・保険契約者の利益を守るための調査・研究及び提言活動

「活力ある代理店制度等研究会」を開催しています

保険代理業を「若く優秀な人材が生き活きと活躍することができる産業」とすることが、損害保険の普及と消費者・保険契約者の保護に一層貢献すると考え、時代に適合した代理店制度のあり方について検討を行うため、日本代協の特別会員である保険会社4社（あいおいニッセイ同和損保、損保ジャパン日本興亜、東京海上日動、三井住友海上）とともに、平成19年度に「活力ある代理店制度等研究会（活力研）」を立ち上げ、論議を続けています。

平成26年度は、「代理店の一人当たりの生産性を高めるために」、「各社の平成27年度専門代理店戦略」をテーマに、識者の意見も踏まえながら論議を行いました。

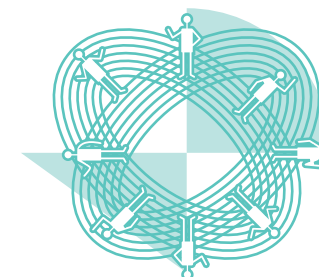


活力ある代理店制度等研究会（平成27年2月12日）

保険契約者等の利益保護に資する募集の公平性の維持

日本代協は、リスク分析や商品提案力、商品説明力、事故発生時の対応等が優れた代理店が契約者に選ばれる環境にしていかなければ、消費者の利益保護にはつながらないと考え、募集の公平性を維持し、不公正な競争を排除する取り組みを進めています。

銀行等における弊害防止措置の遵守状況や他の商品との抱き合わせ販売、不当な契約乗換え等、消費者が不利益を被っている事案がないか、継続的にモニタリングを実施し、法律等の制度やルールに及ぶ問題であれば、保険会社や行政に対して情報提供を行なっています。



業界標準化に向けた提言活動

損害保険における自由化の進展により、各社の独自性が発揮されることは消費者にとって好ましいことですが、逆に、消費者にとって共通化や標準化が望ましい領域にまで、無用な競争を拡大させた場合には、かえって、商品やサービスの複雑化を招き、契約者の理解を妨げることにもなります。日本代協では、消費者の利便性向上、業務効率化を目的に共通化・標準化すべき項目を損保協会に提言しています。

【共通化・標準化を提言する検討視点】

- ① 契約者にとっての分かりやすさ、利便性の向上（トラブル・不信の抑制）
- ② 保険会社のコスト削減（保険料引き上げ抑制）
- ③ 代理店・募集人の業務効率化（消費者対応時間の創出）

代理店賠償 日本代協新プランを提供

日本代協は、保険契約者保護の観点から、募集人の資質向上、代理店の経営品質向上に努める一方で、万が一、契約者にご迷惑をかけた場合（保険業法第283条による賠償事案）に責任を負えるだけの賠償資力が確保できるよう、代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」を代協会員に提供しています。

平成27年3月末現在、9,762店の代協会員が加入しています。



損害保険の普及に関する 啓発・宣伝活動

学校教育への取り組み

日本代協及び代協会員は、地域に根差した「リスクアドバイザー」として、また、「保険実務の専門家」として、地域の子どもたち、学生に対する学校教育に取り組んでいます。

【小学生のぼうさい探検隊・マップコンクール】

「ぼうさい探検隊」とは、損保協会が実施する「子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム」です。日本代協では、損保協会と連携し、代協会員自らマップ作成指導や普及に取り組んでいます。

また、平成26年度から、マップコンクールの表彰でキッズリスクアドバイザー賞（日本代協賞）を提供しています。

平成26年度 代協会員が指導し応募した
作品165作品のうち7作品が入選

【高校生の自動車リスクへの対応】

代協会員が講師となり、これから社会に出る高校3年生を中心に、自動車事故の具体事例や事故を起こした場合の様々な賠償責任、自動車保険の補償内容やチェックポイント等の解説を学校授業の一つとして実施しています。

平成26年度 7代協 15校 2,707名

【大学での保険募集関係の講座】

福島大学、埼玉大学、広島大学、琉球大学等で、損保協会が開講している「損害保険講座」の保険募集のパートを日本代協が担当し、日本代協役員や各代協から選任されたメンバーが講義を行なっています。また、講師のスキルアップ・均一化を図るため「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、講師の育成にも努めています。



山口県代協（平成26年7月3日）



キッズリスクアドバイザー賞
（平成27年3月15日）
ガールスカウト千葉県第3団ジュニア部門「西船KIDS」



北海道代協（平成27年1月29日）



福井県代協（平成26年12月12日）



埼玉県代協 埼玉大学 損害保険概論
（平成26年12月1日）



和歌山県代協（平成27年2月3日）

消費者団体との対話活動

日本代協、各都道府県代協は、各地域で消費者団体と定期的に懇談会を行い、消費者の声に耳を傾け、その声を会員間で共有することで、代理店・募集人の資質向上を図っています。

あわせて、行政・損保協会・金融審議会等に消費者の声を伝え、より良い保険の仕組み、保険商品の提供に反映させることで、消費者の利益に貢献する活動をしています。

平成26年度は15代協で計20回の懇談会を開催しました。

地震保険の啓発・普及促進

地震国日本において地震補償の必要性を広く消費者に周知することは、損害保険に携わる者の社会的責務です。日本代協では、新潟県中越地震が発生した10月を「地震保険の月」と定め、「地震保険の保険金は被災時の生活再建資金となり、生活の早期安定に資する」ことを毎年全国で訴えています。また、平成26年度は国連防災世界会議の開催とあわせて、3月にも啓発活動を行いました。



群馬県代協（平成26年10月23日）



日本代協、宮城県代協
（平成27年3月15日）

無保険車追放の取り組み

交通事故は年間に63万件近く発生し、死傷者数も78万人を超えています*。事故が起きた場合、被害者だけでなく、加害者にも賠償責任義務による金銭的負担や精神的負担が強いられます。日本代協では、交通事故被害者の対人賠償の確保と加害者の経済的負担を補う自賠責保険の普及を目的に「無保険車追放キャンペーン」を、毎年9月に国土交通省と共同で実施しています。

* 出典：警察庁交通局



徳島県代協（平成26年9月29日）

自動車等の盗難対策

日本代協は、平成24年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム（警察庁主管）」に参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。また、損保協会が、毎年10月7日を「トナアン（盗難）防止の日」と定め、消費者に対する啓発活動を行っており、日本代協も協力しています。



沖縄県代協（平成26年度10月7日）

お客さま向け情報誌 「みなさまの保険情報」の発行

「損害保険代理業は情報提供業」であり、事故の有無にかかわらず積極的にお客さまへ常に新しい情報をお届けし、お役に立つことが重要な役割であると考えています。そのためのツールとして、お客さま向けの情報誌「みなさまの保険情報」（年4回発行）を代協会員に軒旋し、現在約5万部が発行されています。



メディアを活用したPR

日本代協は、消費者の皆さまに損害保険代理店、損害保険トータルプランナー等の活動をご理解いただくため、メディアを活用したPRを行なっています。

平成26年度は、昨年に続き、タレントの松尾貴史さんを起用し、代協会員が損害保険の疑問に答える情報バラエティー番組「暮らしに効き目! かしこい損害保険の選び方を教えます! 2」をBSフジで放映しました。

なお、現在ホームページ（リンク先のYouTube）で放映した番組を公開しています。



「暮らしに効き目! かしこい損害保険の選び方を教えます! 2」

<https://www.youtube.com/watch?v=JsgIGzwZdXc>

アップロード期間は平成27年8月28日までです。

地域社会貢献活動

各種ボランティアや地域に密着した継続的な活動を通じて、地域社会への貢献を行なっています。平成26年度は37代協で145回の活動を行いました。

また、消費者に関心の高いテーマを選び、全国各地で公開講座を開催しています。

平成26年度は、2支部・9代協・4ブロックで計14回の公開講座を開催し1,512名の皆さまがご参加いただきました。

●献血、AED講習会



神奈川県代協
献血活動(平成26年6月12日)



三重県代協
AED使い方講座(平成26年10月24日)

●社会貢献活動



栃木県代協
みんなで落語を楽しむ会
(平成26年9月9日)



京都代協
京都マラソンボランティア
(平成27年2月15日)



岡山県代協
いのちのメッセージ展
(平成27年1月11日)



熊本県代協
交通遺児募金活動
(平成27年2月4日)

●交通安全



岩手県代協
飲酒運転撲滅キャンペーン
(平成26年12月5日)



長野県代協
交通安全街頭啓発(平成26年9月21日)

●公開講座



やまがた代協
問題のとらえ方とその解決方法
(平成26年5月23日)



静岡県代協
椅子取りゲーム社会で生き残る方法
(平成26年10月8日)

地球環境保全活動 (ボランティア・グリーン活動)

ボランティア・グリーン活動として自然保護団体が行う植林作業に参加したり、地域の海岸・河川、道路、公園等の清掃活動を行なっています。

平成26年度は、38代協、2ブロックで計82回、3,057名が活動に参加しました。

●清掃活動



愛知県代協
熱田神宮清掃活動(平成26年10月25日)



岐阜県代協
長良川清掃(平成26年4月27日)



石川県代協
クリーン・ビーチ in 能登
(平成26年9月6日)



島根県代協
ヨシ刈り取りボランティア
(平成27年3月7日)



広島県代協
広島駅前清掃
(平成26年12月27日)



愛媛県代協
石手川ダム清掃(平成26年10月19日)



大分県代協
上野墓地公園清掃(平成26年4月8日)



佐賀県代協
呼子町殿ノ浦清掃(平成27年9月7日)

低炭素社会の実現に向けて

有効な気候変動対策が取られなかった場合、21世紀末までに世界の平均気温は、現在に比べ4.8℃上昇、平均海面水位は82cm上昇する可能性が高いといわれています。*

日本代協では、環境省が進める「最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくっていきましょう!」という『Fun to Share』のコンセプトに賛同し、低炭素社会の実現に向け、①紙の使用削減、②自動車のアイドリング・ストップ、③ゴミの削減に取り組んでいます。

* 出典：IPCC(気候変動に関する政府間パネル) 第5次評価報告書

